

フランスにおける日本まんがに関する動向

1. フランスにおける日本まんがの市場

フランスでは、日本のまんがに相当するものは *bande dessinée*（バンド・デシネ、絵が描かれた帯の意）と呼ばれるが、通常 BD（ベーデー）と略称で呼ばれることが多い（以下 BD）。日本まんがも書籍のジャンルとしては BD に含まれるが、そのまま日本語で「マンガ（manga）」と呼ばれている。

フランスにおける日本まんがのブームの火付け役となったのは、1990年に Glénat（グレナ）社が出版した大友克洋の「AKIRA」であるとされる。以来「ドラゴンボール」や「ワンピース」、「ナルト」などの人気作品の売り上げの伸びに伴って日本まんがの市場は拡大を続け、2016年にはフランスは日本に次ぐ世界第2位のまんが市場となったが、現在では、日本、アメリカに次いで世界第3番目の市場を形成している。

フランスにおける日本まんがの流通量および市場規模

2020年の状況については、2021年1月28日付の日刊紙ル・モンドの記事「*Les ventes de BD progressent de 9 % en 2020, portées par les mangas*」（まんがの人気に後押しされて BD の売上も 2020年に9%増）には、市場調査会社である Growth from Knowledge (GfK) が発表した2020年の BD 市場（日本まんがを含む）に関する調査の結果が紹介されている。それによるとコロナ禍にあった2020年の BD の販売部数は過去最高の5310万部で、前年比で+9%となった。また BD の売上高は対前年で+6%の5億9100万ユーロとなっている。フランスの BD 市場は 2016年から安定した伸びを示しており、出版市場で文学書と児童書に次いで18%（販売部数）のシェアを占め、フランスで購入される書籍5冊のうち1冊が BD である。

この伸びの牽引役となっているのが日本まんがで、2019年に BD の販売部数に39%を占めていた日本まんがの割合は、2020年には2,230万部、42%（対前年+18%）と、さらにそのシェアを伸ばしている。なお2020年の日本まんがの売上高については2019年、2018年の実績などから約1億7000万ユーロと推計できる。

2019年の状況については、日本に関する情報提供サイトである Journal du Japon に2020年4月19日付で掲載（同月20日に更新）された「[Bilan Manga 2019] Ventes en France : l'extraordinaire ascension !」（[2019年のまんが市場の状況]フランスにおける販売部数の著しい伸び!）と題する記事には、上記の調査会社による2019年のフランスにおける書籍市場に関する調査の結果が紹介されており、同年の書籍市場に日本まんがが占めるシェアについても紹介されている。この記事によると、2019年の日本まんがの販売部数は1900万部、また売上高は1億4530万ユーロ（1ユーロを129円として約187億4370万円）となっている。

フランスの書籍出版業全国組合の2019-2020年度版出版業界データ報告書（概要版）においても、BD 販売の伸びに貢献しているのが日本まんがであると書かれている。同報告書によると、まんがの販売部数がこのように大きな伸びを示しているのは、以下の2つの理由によるものであるとされる。

- 「ドラゴンボール」「ナルト」「フェアリーテイル」「ワンピース」などのシリーズの既刊が、その続編や番外編とともに着実に売上を伸ばしていること。
- 「約束のネバーランド」のような、新しいジャンルの作品が登場し、大きな反響を呼んでいるものがあること。

なお同組合には、同業界の異なる部門ごとに情報提供と提案を行う「グループ」と呼ばれる内部組織が複数設置されている。その1つであるBDグループは、Growth from Knowledge (GfK) と共同でフランスの人口を代表する10歳以上の者15,000人を対象に行った標本調査 *Bande dessinée : quels profils ? Quelles opportunités ?* (BD: どのような顧客プロフィール? どのようなビジネスチャンス?) の結果を2019年に発表している。

それによると、2018年の日本マンガの販売部数は1,670万部、売上高は1億2,780万ユーロ(約164億8,620万円)となっている。購入者の数は190万人であるとされ、購入者1人当たりがマンガの購入に充てる平均年間支出額は64ユーロ(約8,260円)、また年間平均購入部数は9冊となっている(18歳から25歳の者については、マンガの購入平均支出額は113ユーロで、購入部数は17冊)。マンガの購入者の年齢は、69%が40歳以下(そのうち15歳以上29歳以下の者は36%)であるほか、購入者の60%が女性である。

さらに2018年に販売された日本マンガのジャンル別売上高をみると、少年マンガが8,100万ユーロ(約104億4,900万円)と一番大きなシェアを占めており、次いで青年マンガ3,340万ユーロ(約43億8,600万円)、少女マンガ1,110万ユーロ(14億1,900万円)およびその他となっている。

2. 人気の高い日本のマンガ

1) フランスにおける人気の高い日本のマンガ

書籍関連の情報サイトである *Les univers du livre ACTUALITÉ* に掲載された、2021年1月7日付の *Best-sellers : les mangas les plus vendus de 2020* (ベストセラー: 2020年に最も売れたマンガ) と題する記事によると、2020年に発売された新刊マンガ売上ランキングトップ10は以下のとおりである(ただし第5位の *Ki & Hi* はケヴィン・トラン (Kevin Tran) とファニー・アンティニー (Fanny Antigny) による作品で、日本のマンガ家によるものではない)。

順位	タイトル (フランスにおけるタイトルと日本語タイトル)	販売部数	売上高 (ユーロ)
1	One Piece (ワンピース) 95巻	86 012	583 532
2	One Piece (ワンピース) 96巻	71 656	486 180
3	L'appel de Cthulhu (クトゥルフの叫び声)	26 000	432 402
4	Demon Slayer (鬼滅の刃) 7巻	60 000	410 046
5	Ki & Hi 6巻 Le peuple oublié	41 819	409 000
6	My Hero Academia (僕のヒーローアカデミア) 25巻	61 471	398 641
7	Jujutsu Kaisen (呪術廻戦) 1巻	57 986	393 786

8	Demon Slayer (鬼滅の刃) 6巻	56 809	390 509
9	The Promised Neverland (約束のネバーランド) 15巻	57 515	389 288
10	Dragon Ball Super (ドラゴンボール超) 12巻	56 441	383 487

出典：<https://actualitte.com/article/98226/economie/best-sellers-les-mangas-les-plus-vendus-de-2020>

また 2021 年 1 月 16 日付の BFM TV (ニュース専門のテレビ局) のサイトの記事 « Naruto » est le manga le plus vendu en France en 2020 (「ナルト」は 2020 年にフランスで最も売れたまんが) および 2021 年 1 月 19 日付の Mouv' (ラジオ・フランスのサイトの 1 つ) に掲載された同題の記事によると、2020 年のフランスにおける年間ベストセラーのまんが作品は Kana 社が発行している「ナルト」で、その売上は約 120 万部に達している。2019 年の販売部数は約 67 万部であったことから、2020 年には売上が倍増したことになり、また年間で 30 秒に 1 部が売れた計算になる。この大幅な販売部数の伸びは、新型コロナウイルス感染症対策として 2 回行われたロックダウンによるものとされる。また同年に「ナルト」の中で最も売れた巻は 1 巻 (127 850 部) となっている。同作品はフランスにおいては出版社 Kana が 2002 年から 2016 年にかけて全 72 巻を出版しており、2020 年になって最新の作品ではないまんがの 1 巻がこれだけ多く売れるということは、「ナルト」がカリスマ的作品で多くのフランス人の関心を引くものであることを表すものである、といったコメントがネット上に見られる。

「ナルト」に限らず、フランスでは 10 年以上前に発行されたシリーズ作品が今日でも高い人気を誇っている。以下の表は 2019 年の日本まんがのシリーズ年間売上ランキングのトップ 17 を示したものであるが、そのうち「ワンピース」や「ドラゴンボール」などの 5 つの作品はフランス語版が初めて発行されて以来 10 年以上が経っている (表に青色で示した作品)。しかもそれらは全て同年のランキングトップ 10 に名を連ねている。

順位	シリーズ作品名 (フランス語タイトルと日本語タイトル)	市場シェア (販売部数)	フランス語版 発行開始年
1	One Piece (ワンピース)	7.3 %	2000
2	Dragon Ball (ドラゴンボール) / Dragon Ball Super (ドラゴンボール超)	5 %	1993
3	My Hero Academia (僕のヒーローアカデミア)	4.7 %	2016
4	Fairy Tail (フェアリーテイル) / Fairy Tail 100 Years Quest (フェアリーテイル 100 年クエスト)	4.4 %	2008
5	Naruto (ナルト) / Boruto : Naruto Next Generations (ボルトナルトネクストジェネレーションズ)	4.1 %	2002
6	The Promised Neverland (約束のネバーランド)	3.1 %	2018
7	One Punch Man (ワンパンマン)	3 %	2016
8	Berserk (ベルセルク)	2 %	2004
9	L'attaque des Titans (進撃の巨人)	2 %	2013
10	Tokyo Ghoul (東京喰種トーキョーグール) / Tokyo Ghoul : re (東京喰種トーキョーグール : re)	1.8 %	2013

11	Black Clover (ブラッククローバー)	1.5 %	2016
12	Dr. Stone (ドクターストーン)	1.3 %	2018
13	Seven Deadly Sins (七つの大罪)	1.2 %	2014
14	Assassination Classroom (暗殺教室)	1.1 %	2013
15	Kingdom (キングダム)	0.9 %	2018
16	Edens Zero (エデンズゼロ)	0.9 %	2018
17	Splatoon (スプラトゥーン)	0.8 %	2017

出典：<https://www.journaldujapon.com/2020/04/19/bilan-manga-2019-ventes-en-france-lextraordinaire-ascension/>

なおフランスにおいて発行が始まったのが最近の日本まんがで、その販売部数の伸びが注目されているのが「呪術廻戦」である。同作品の1巻がKi-oon社から発売されたのは2020年6月であるが、最初から売れ行きは好調で、上記の2020年の新刊まんが売上ランキングトップ10に入っており、同出版社が発行しているまんが作品の中でも突出した大ヒット作となっている（これまでに7巻が発行されている）。

「呪術廻戦」がフランスでも高い人気を得ている理由について、Ki-oon社のアメッド・アーニョ共同創業者・出版部長（元JETプログラム参加者）はBMF TVのインタビューに答えて「このまんがは自分達より年上の主人公が登場するまんがを読みたいと思う青少年も、少年まんがが好きだけれど、少年まんがでよく見かける天真爛漫なキャラクターの主人公ではなく、精神的に成熟した主人公が登場するまんがを読みたいと思う大人も関心を持つ作品です。つまり「呪術廻戦」は青少年にとっては大人のまんがで、大人にとっては少年まんがなのです。」と語っている（2021年1月14日にBFM TVのサイトに掲載された記事 Comment « Jujutsu Kaisen » est devenu en moins de trois ans un des mangas les plus populaires au monde（「呪術廻戦」はいかにして3年も経たずに世界で最も人気ある作品となったのか）による）。

2) フランスにおける翻訳作品の使用言語

「僕のヒーローアカデミア (My Hero Academia)」や「約束のネバーランド (The Promised Neverland)」のように、日本語版のまんがの表紙に英語のタイトルが書かれている場合、あるいは「ナルト (Naruto)」のようにローマ字表記がある場合には、そのタイトルがそのまま使われているものが多いが、「進撃の巨人 (Attack on Titan)」のようにフランス語にタイトルが訳されているものもある（同作品のフランス語のタイトルは« L'attaque des Titans »）。

ストーリーについては、フランス語に翻訳されている。

なおフランス語は横書きのため、書籍は左開きであるが、まんがについては日本と同じように右開きで、コマも右から左へ、また上から下へと読み進めるように割られている。

3. まんがに関する表現方法

SNSによるまんがの発信または検索にはフランス語が使用される。出版社のサイトなどでまんがのジャンル別検索をする場合には、ジャンルとしてShōnen（少年）、Shōjo（少女）、Seinen（青年）、kodomo（子ども）という日本語がそのまま使われる（以下の出版社のツイッターとサイトのカタログページを参照のこと）。

Kana 社の Twitter

← **Editions Kana** ✓ 16,5 k Tweets Suivre

 **Editions Kana** ✓ @EditionsKana · 26 févr.
La famille Yozakura arrive en version collector ! 😎

Profitez de l'illustration couleur qui a fait la couverture du Shonen Jump lors du démarrage de la série, ainsi que d'un carnet pour réaliser vos propres messages codés 🕵️

Plus d'infos : bit.ly/3dOzqr3



出典 : https://twitter.com/EditionsKana?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Eauthor

Kurokawa 社の Twitter

 **Editions Kurokawa** ✓ @Kurokawa · 23 févr. ...

#Nouveautés #DemonSlave - Dans un monde où les femmes dirigent, Yûki est sauvé par une membre de l'escadron antidémon, qui en échange de pouvoirs en fait son esclave. Action, humour et un soupçon de ecchi 🍷

👉 lisez.com/livre-grand-fo...

Dispo en formats physique et numérique 📖



1 19 46

出典 : https://twitter.com/search?q=%C3%A9ditions+kurokawa&ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Esearch

Glénat 社のサイトのカタログページ

<https://www.glenat.com/manga>

Kana 社のサイトのカタログページ

<https://www.kana.fr/mangas/?tab=collection&collection=shonen-kana>

4. まんが制作の指導状況

まんが制作の技術を教える高等学校の有無：なし

日本の高等学校に相当する、フランスの後期中等教育機関はリセ (lycée) と呼ばれる。リセの修業年限は 3 年で、生徒は卒業時に中等教育の修了と高等教育機関への入学資格を併せて認定する国家試験であるバカロレア (baccalauréat) を受ける。バカロレアは普通バカロレア、技術バカロレアおよび職業バカロレアの 3 つのカテゴリに分類され、さらに各カテゴリにおいて専門分野別に複数のバカロレアが存在する。その 1 つに「デザイン・応用芸術科技術バカロレア」と呼ばれる技術系バカロレアがあり、進路オリエンテーションのサイトにおいても、リセ卒業後に BD の作家を目指すための勉強を望む者には、そのための基礎知識を習得するためにこのバカロレアを準備するリセの学級において専門科目を履修することが勧められている。フランス本土にはこのバカロレアを準備する学級を設置しているリセが 105 校存在する。しかしながらカリキュラムには、まんがを含む BD の制作技術を学ぶ科目は含まれておらず、またそのような技術の指導を特徴ある教育としているといった情報をネット上で公開しているリセは見当たらない。なおクラブ活動としてグループでのまんが作品の制作、まんがや日本文化についての意見交換などの活動を行っているリセは多く存在する。

まんが制作の技術を教える専門学校の有無：あり

以下のリストはフランスのまんがである BD の制作技術を教える専門学校のリストであるが、その作成にあたっては、日本まんが、あるいは BD の制作技術を学べるコースや履修科目をサイトに明記している学校のみとすることとした。リストの最初の 2 校は特に日本のまんがの制作技術を教えている。EIMA のサイトには講師は全員が日本で活躍するまんが家であると明記されているほか、Human Academy Europe のサイトには、日本人とフランス人の講師によるまんがの制作技術の教育とある。それ以外の学校については、日本まんがに限らない BD の制作技術の教育を行っている。

なお以下に挙げた専門学校はまんがあるいは BD の制作に関する専門的な勉強ができる学校としての専門学校であって、必ずしも日本における「専門学校」の定義に当てはまるものではない。これらの学校の多くの入学資格はリセ卒業程度であり、入学希望者にはデッサン、クロッキー、静物画等、複数の作品の提出が求められ、書類選考と面接による選抜が行われる（公立学校である EESI では学科試験と実技試験からなる入学試験を実施している）。デッサンや創作の能力は入学者選抜の際に提出される作品により評価され、「デザイン・応用芸術科技術バカロレア」は入学に必要な資格とはされない。しかし同バカロレアの取得者はすでに応用芸術の基礎的技術を習得していることから、その者に対して第二学年に編入を認める学校もある。修業年数や授業時間数は学校により異なる。また課程修了時についても、修了証明書が発行される学校、職業教育と見習い制度の資金調達と制度改善を担う国の組織である France Compétences の職能証明全国目録に含まれる職業資格の 1 つである「BD・イラスト画家・原作者 (Dessinateur concepteur de bande dessinée et d'illustration)」の証明書が付与

される学校、あるいは国の監督に基づいて大学の学位に準ずる修了証書が発行される学校など、学校によって様々である。ちなみに現在フランスにおいては、日本まんが家の免状や資格は存在しない。

学校名	公立／ 私立	代表者	連絡先
日本まんがの制作技術を教える専門学校			
École internationale du Manga et de l'animation (EIMA) http://www.eima.school/	私立	Madame Claire PELIER, Directrice	EIMA 7 rue Bénézet 31300 Toulouse Tel. : + 33 (0)5 81 97 11 33 Email : contact@eima.school
Human Academy Europe https://eu.athuman.com/ (日本で専門学校等を運営するヒューマンアカデミーがフランスに設立した専門学校)	私立	Madame Caroline PARSONS, Directrice	Human Academy Europe SAS 121 rue de Bordeaux 16023 Angoulême Cedex Tel. : + 33 (0)5 45 38 65 77 Email : info-eu@athuman.com
BD の制作技術を教える専門学校			
École européenne supérieure de l'image (EESI) https://www.eesi.eu/site/	公立	M. Marc MONJOU, directeur général	École européenne supérieure de l'image 134 rue de Bordeaux 16000 Angoulême Tel. : + 33 (0)5 45 92 66 02 Email : contact@essi.eu
Académie Brassart-Delcourt https://www.academie-bd.fr/	私立	M. Eric DÉRIANT, directeur	Académie Brassart-Delcourt 77 avenue de la République 75011 Paris Tel. : + 33 (0)1 71 32 87 26 Email : contact@academie-bd.fr
CESAN https://www.cesan.fr/lecole-de-bd/	私立	M. Mikhael ALLOUCHE, directeur	CESAN 11 rue des Bluets 75011 Paris Tel. : + 33 (0)9 50 89 74 82 Email :
École Emile Cohl https://www.cohl.fr/matiere/bande-dessinee/	私立	M. Antoine RIVIERE, directeur général	École Emile Cohl 1 rue Felix Rollet 69003 Lyon Tel. : + 33 (0)4 72 12 01 01
École de Condé Paris https://ecoles-conde.com/formations/bachelor-illustration-bd-animation/	私立	Mme Nastassja de MOURZITCH, directrice	École de Condé Paris 7 rue Cambronne 75015 Paris Tel. : + 33 (0)1 53 86 00 22 Email : contact.paris@ecoles-conde.com
École Jean Trubert https://ecolejeantrubert.com/formations-etudiants/	私立	Mme Christelle GUILLEMAIN, directrice Mme Estelle BAÏRA, directrice	École Jean Trubert 7 rue d'Hautpoul 75019 Paris Tel. : + 33 (0)1 45 96 03 58 Email : contact@ecolejeantrubert.com

École Pivaut https://www.ecole-pivaut.fr/formations/bande-dessinee-293.html/	私立	Erwan PIVAUT, directeur de création	École Pivaut 26 rue Henri Cochard 44000 Nantes Tel. : + 33 (0)2 4029 15 92 Email :
L'iconographe https://www.liconographe.com/	私立	M. Thierry MARY, directeur	L'iconographe 91B route des Romains 67200 Strasbourg Tél. : +33 (0)9 53 80 67 15 Email : info@liconographe.com

5. 「まんが甲子園」に参加できる可能性の高い高等学校

フランスにまんが制作の技術を教えるリセ（高等学校）が存在しないことから、「まんが甲子園」に参加できる可能性の高い高等学校の情報提供は難しい。

一方、全国的な統計はないが、リセでは、クラブマンガ（Club Manga）として、制作に限らないがまんがに関するクラブ活動が盛んなことから、日仏自治体交流の取組の一つとして、こうしたマンガに関する高校生の活動が挙げられることがあり、高校生のクラブ活動の延長としての、参加（応募）可能性はあるものと思われる。

2020年は、教育省においてバンドデシネの2020年（2021年6月まで会期延期）として、50年近く続くアングレーム漫画祭での学校BDコンクールなどの情報やマンガを活用するツール、BD作家と学校などをマッチングするプロジェクトなどを紹介するサイトを設けている。これらのコンクールへの参加者などが学校でのまんが活動に参加していれば、まんがに具体的な関心のある高等学校としてマンガ甲子園への想定参加対象の一つとして考えられる。

バンドデシネの2020年サイト

<https://eduscol.education.fr/1343/annee-2020-de-la-bande-dessinee>

アングレーム国際漫画祭・学校バンドデシネコンクール

<https://eduscol.education.fr/1666/concours-de-la-bd-scolaire>

2020年同展受賞者リスト（県別リセ等学校別）

<https://www.bdangouleme.com/storage/upload/pdf/2020-bd-scolaire-palmares-0-0-0-0.pdf>

参考 URL（主要なもののみ）：

- フランスにおける日本まんがの市場関連

<https://www.avoir-alire.com/akira-en-france-retour-sur-un-mythe>

<https://blogs.mediapart.fr/nathalie-ml/blog/040919/le-succes-grandissant-des-mangas-en-france>

https://www.lemonde.fr/economie/article/2021/01/28/les-ventes-de-bd-caracolent-portees-par-les-mangas_6067950_3234.html

<https://www.lesechos.fr/tech-medias/medias/les-ventes-de-bd-resistent-a-la-crise-sanitaire-1285424#:~:text=Malgr%C3%A9%20le%20Covid%2D19%2C%20les,millions%20d'exemplaires%20en%202020.>

<https://www.gfk.com/fr/insights/BD-ne-connait-pas-la-crise>

<https://www.journaldujapon.com/2020/04/19/bilan-manga-2019-ventes-en-france-lextraordinaire-ascension/>

https://www.sne.fr/app/uploads/2020/10/RS20_Synthese_web.pdf

<https://www.sne.fr/document/etude-bande-dessinee-quels-profil-elles-opportunités/>

https://www.sne.fr/app/uploads/2019/07/Infographie_SNE-BD_210x297_Mail.pdf

https://www.bfmtv.com/people/comment-jujutsu-kaisen-est-devenu-en-moins-de-trois-ans-un-des-mangas-les-plus-populaires-au-monde_AN-202101140167.html

- 人気の高い日本のまんが関連

<https://actualitte.com/article/98226/economie/best-sellers-les-mangas-les-plus-vendus-de-2020#:~:text=%C3%80%20partir%20des%20donn%C3%A9es%20du,les%20meilleures%20ventes%20manga%202020.&text=%C3%89videmment%2C%20on%20peut%20l'attendre,pour%20un%20montant%20de%20583.532.>

https://www.bfmtv.com/people/naruto-est-le-manga-le-plus-vendu-en-france-en-2020_AN-202101160062.html

<https://www.journaldujapon.com/2020/04/19/bilan-manga-2019-ventes-en-france-lextraordinaire-ascension/>

<https://www.actuabd.com/Marche-de-la-BD-en-France-en-2020-une-annee-record>

<https://www.mouv.fr/mouv-info/naruto-est-le-manga-le-plus-vendu-en-france-en-2020-366224#:~:text=Naruto%20toujours%20au%20sommet%20en,de%20127.000%20exemplaires%20%C3%A9coulé%C3%A9s.>

<https://www.20minutes.fr/arts-stars/culture/2955479-20210118-manga-plus-vendu-2020-naruto>

- まんがに関する表現方法関連

https://twitter.com/EditionsKana?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Eauthor

https://twitter.com/Kurokawa?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Eauthor

<https://www.glenat.com/manga>

<https://www.kana.fr/mangas/?tab=collection&collection=shonen-kana>

- まんが制作の指導状況関連

<https://www.onisep.fr/Ressources/Univers-Formation/Formations/Lycees/bac-techno-std2a-sciences-et-technologies-du-design-et-des-arts-appliques>

<https://www.letudiant.fr/metiers/secteur/creation/dessinateur-de-bd.html>

<http://etudinfo.com/domaines/bande-dessinee/>

<https://www.onisep.fr/content/search?SearchTextTransverse=manga>

<https://www.studyrama.com/formations/fiches-metiers/art/mangaka-101299>

https://hitek.fr/actualite/premier-ecole-manga-en-france_6160

<http://www.citebd.org/spip.php?rubrique77>

<https://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid49085/les-etablissements-d-enseignement-superieur-privés.html>

<https://www.francecompetences.fr/recherche/mcp/34482/#:~:text=Le%20dessinateur%20concepteur%20de%20bande,%2C%20expressifs%2C%20structur%C3%A9s%20et%20incarn%C3%A9s.>